

都市計画法第43条建築許可申請書 添付書類一覧

提出部数 2部

(正本1部・副本1部)

(図書の大きさは、原則A4サイズ)

分家住宅	既存建替	既存宅地	宅地利用	収用移転	日用品店舗	書類	備考(作成要領)
○	○	○	○	○	○	申請書	・別紙、記載例を参考に記載すること。
○	△	不要	不要	○	○	理由書	・申請の理由を記載し、署名・押印すること。
○	○	○	○	○	○	敷地概要書	・裏面の記載例を参考に作成すること。
○	○	○	○	○	○	位置図 (1/2500程度)	・縮尺・方位・敷地の位置と形状、都市計画道路を明示すること。
○	○	○	○	○	○	敷地現況図 (1/250以上)	・敷地の境界、周辺の公共施設、建築物等の位置、 がけ及び擁壁、写真の撮影位置等を明示すること。 ・擁壁については、延長も記載すること。 ・敷地4角のGLを記載すること。
○	○	○	○	○	○	配置図 (1/250以上)	・敷地の境界、周辺の公共施設(道路及び放流先の 名称)、予定建築物等の位置、擁壁(既存・新設)の 位置・種類・延長・天端高、排水施設的位置・種類・ 形状、水の流れの方向を明示すること。 ・都市計画道路が通る場合、その位置を明示すること。 ・敷地4角のFHを記載すること。
○	○	○	○	○	○	縦横断面図 (1/250以上)	・計画断面(現況地盤高も記載)、道路、水路、予定建築物 切土高・盛土高、(切土・盛土なし)を記載すること。 ・切土部分は黄色、盛土部分は赤色に着色すること。
△	△	△	△	△	△	擁壁の断面図 (1/250以上)	・擁壁を設置する場合に、根入れ・転び・宅盤面を明 示すること。
○	○	○	○	○	○	公図写	・申請地は黄色、公道は赤、水路は青、堤塘敷は 薄墨色に着色し、方位・縮尺を記載すること。 ・転写の日、場所、転写した者の氏名を記載し、 転写者の印を押すこと。
○	○	○	○	○	○	敷地求積図 (1/250以上)	・セットバックをする場合、又は敷地の一部に盛土をす る場合は、その部分を別途求積すること。
○	○	○	○	○	○	建築物の平面図、 立面図	・構造、規模(建築面積・延床面積)、建ぺい率、容積 率、高さを記載すること。
○	○	○	○	○	○	土地登記簿謄本	・発行日が申請日から3ヶ月以内のもの。宅地となった日 や取得日を確認する場合、既存宅地確認後合筆をして いる場合など、関係する複数の謄本や閉鎖謄本も必要な 場合あり。
△	△	△	△	△	△	土地使用承諾書	・申請者と土地所有者が異なる場合に必要。共有地なら全共有者。
○	△	不要	不要	不要	不要	住民票(居住する全員のもの)	
○	○	○	○	○	○	誓約書 (申請者の自筆・署名・押印)	・申請に係る建築物について、貸与・転売・用途変更* しない旨を誓約する。(書式自由) ※貸与・転売等誓約しなくても良い場合もあります。詳細はお問合せください。
○	○	○	○	○	○	現況写真	・敷地の現況、接道の状況、放流先河川の現況、がけ・ 擁壁の現況がわかるもの(2方向以上)。 ・敷地の境界を赤い線で明示すること。 ・撮影した日付を記載すること。
△	△	不要	不要	不要	不要	借家証明書	・賃貸借契約書の写など。
①	②	③	④	⑤	⑥	許可に係る証明書	① 戸籍謄本、農家の分家の場合、農業を営む者の証明 ② 既存建築物が適法に建てられたことを証する公的証明等 ③ 既存宅地確認通知書の写し ④ 線引き時宅地の公的証明、50戸連たん現況図 ⑤ 収用証明書(構外再築工法)、三者契約書の写 ⑥ 免許等の写、50戸連たん現況図、業務内容書
△	△	不要	不要	△	△	農振除外証明書	・申請地が農地の場合に必要。
△	△	△	△	△	△	農転許可書	・申請中の場合は、受付印を押した申請書の写。
○	不要	不要	不要	不要	不要	申請者・本家の名寄帳	・申請敷地を選定した理由書及び、名寄帳に記載された 土地が確認できる地図を別添すること。
△	△	△	△	△	△	他法令の手續の状況	・占用許可・工事承認申請に該当する場合は、申請 書の写を添付する。
不要	不要	△	△	不要	不要	立地適正化計画・地区計画届出	届出の対象行為に該当する場合。都市計画係に確認。
△	△	△	△	△	△	委任状	・代理申請の場合

○……必要書類 △……必要に応じて添付する (その他の用途は別による)

注: 副本に添付する公的証明(土地登記簿謄本・住民票・農振除外証明書等)は、複写のもので可。